

最近、「パナマ文書」が世界で話題となつてい
る。パナマ文書とは、税
金が高い国や地域でのタ
ックス・ヘイブンを利用
し、節税をしていた人や
企業が公表された文書の
ことだ。それが流出した
ことで、アイルランドの
首相が辞任するなど世界
中に波紋を広げている。
しかし、節税は合法で、
違法になると脱税という
別名称になる。実際に、
パナマ文書に記載されて
いる大半の名前は合法と
いわれているものだ。

それにもかかわらず、
なぜ問題視されているの
だろうか。タックス・ヘ
イブンは、外から見ると
誰のお金が使われている
かわからない。その秘匿
性を悪用すると、不正に

得たお金でも不正になら
なくなる。また、もし日
本の企業が節税していた
全金額を納税した場合消
費税率引き上げを回避で
きる可能性も考えられ

論説

ニュースに関心を

る。つまり、広がる経済
格差を抑えられるのだ。
私たちの日常に、パナ
マ文書は無関係に思われ
る。しかし、私たちに
関係のある問題なのだ。

このニュースだけではな
い。世の中に流れている
ニュースに、何かしら私
たちの日常に影響を与え
るのだ。だが、日本の報
道機関はこのニュースの
多くは触れていない。私
たちが関心をもたなけれ
ば、日常に影響をもたら
すニュースさえも見落と
してしまうのだ。

来月の19日に、公職選
挙法が改正され18歳以上
に選挙権が与えられる。
私たちが、日本の将来を
担わなければならない日
が刻一刻と近づいている
のだ。その中で、今から
日本や世界の状況を知つ
ておく必要があるのでは
ないだろうか。それらの
知識を得た上で、これか
らの未来を考えていき
たい。